

さいたま市教組新聞

さいたま市
教職員組合
TEL 641-6763
FAX 648-3567
Eメール saitama@kyouiku-net.org
ホームページ
http://saitama6763.web.fc2.com/
2009.8.14(金)
No.158

助け合おう！埼教組に入って！

教育は協働の活動 団結と連帯は大事



「自己責任論」のまやかしを打ち破り、みんなが心穏やかに生活できる優しい社会を目指していきましょう。

相互扶助という思想で連帯し、最大多数の最大

自殺者が毎年3万人を超える世の中。医療制度をはじめとする高齢者の切り捨て政策。社会の格差拡大。生活保護制度の劣化。年金の将来不安等々人間にとって本当に生きにくい時代になっていきます。

この世の中、助まよう

埼教組への加入を訴えます

幸福を求める人間の団結を通して、平和で安心して生きる世の中を実現していきましょう。

憲法の要請を忘るな

わたしたちの生活の根本は、日本国憲法に規定されています。「ご承知のように」「主権在民(国民主権)」「絶対平和主義」「基本的人権の尊重」が三大原則です。

憲法を守ることは本来の責務とされていることですが、第12条には「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつてこれを保持しなければならぬ」とあります。

さらに第99条には、公務員の憲法尊重擁護の義務が定められています。そして一〇三箇条の憲法全文の中にひとつ、「人権尊重」について具体的

に実践することを、明確に自他に表明できる条文があります。

それは第28条です。「勤労者の団結する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する」。大切なことだからこそ基本的人権として憲法の中に在るのです。



人権に関する世界宣言(1948年12月10日、国際連合総会)

第23条「4.何人も、その利益の保護のために労働組合を組織し、及びこれに加入する権利を有する」

「助け合おう生きて行こうよ」を言おう

職場・社会の中で「助け合おう生きて行こうよ」を言おう

「3月31日で定年退職した組合員から、さいたま市の公立小・中・養護学校で働くみなさんに贈る「埼教組加入を訴える」手紙です」

戦後64回目の暑い夏が来しました。アメリカの新しい大統領のオバマ氏が、4月5日、チエゴのプラハで行った演説で、「核保有国として一核兵器を使用したことのある唯一の核兵器保有国として、米国は行動する道義的責任がある」「きょう私は、核のない平和で安全な世界を米国が追求していくことを明確に宣言する」とプラハ市民に、いえ世界の人々に訴えました。オバマ大統領は演説をこう締めくくっています。

「人間の運命は、われわれが創りだすものである。よりよき未来を達成することによってわれわれの過去をたえよづばはないか...腕を組めば、それは可能だ」と連帯を呼びかけています。それに比べ日本の首相は、なんとボキャブラリーの乏しい、貧弱な思想の持ち主なのでしょいか。長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典でのあいさつで、「癒すことのできない傷跡を残すこととなりました」の「傷跡」きずあとを「しようせき」と読みました。漢字の読み間違いで国民は直接的に

唯一の被爆国の政治の転換を 選挙権を行使しよう

危険な政権は退席してもらいましょ。憲法を守り、平和を守り、国民の生活と雇用を、福祉と医療を守る政治を実現させましょ。経済格差が子どもの教育権を奪う政治を止めさせましょ。アメリカのご機嫌取りの政治から全世界外交を推進する政治を実現させましょ。

そのために、どの政党、どの候補者を国会に送り出せばいいのか、選択を間違えないようにしましょ。言っていることとやっていることがバラバラな政党はどこなのかをしっかりと見抜き、選挙権を行使しましょ。